



平成26年11月27日

報道関係各位

飯田 OIDE 長姫高校・地域人教育推進に関わる 上土商店街まちづくりに関する視察の受入について

向寒の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、本学では、飯田 OIDE 長姫高校および飯田市と連携協定を結び、若者の地域への定着を目指す地域人教育を実施しております。すでに第1期生が高校卒業後本学に入学し、まちづくりや引き売り事業等で活躍をしております。

地域人教育を推進する上で地域との連携は重要であり、このたび飯田市の関係者が松本を訪れ別紙のような趣旨と内容で視察を行なうことになり、本学で受け入れをいたします。

主に本学の総合経営学部観光ホスピタリティ学科白戸ゼミが上土商店街において継続的に取り組んでいるまちづくりを題材に研修を行なう予定です。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、取材方よろしくお願いいたします。

敬具

記

日 時：平成26年12月2日（火） 午前11時30分～15時

場 所：12時半まで 松本大学5号館第3会議室

午後 上土ふれあいホール

参加者：飯田市公民館関係者8名 上土商店街関係者 松本大学学生

松本市公民館関係者

※詳細につきましては、別紙をご参照ください。

以上



【別紙】

上土商店街まちづくりと学生の活動に関する視察について

1. 背景と目的

松本大学と飯田 OIDE 長姫高校、飯田市は「地域人教育推進に関わる連携協定」を3者で締結し、「飯田を学び、飯田を愛する若者を育成し地域への定着を図る」という地域人教育に取り組んでいる。3年間で245時間のカリキュラムを通じ、地域について学び実践するものであり、特に飯田市は公民館が受け入れ窓口となって、地区単位で高校生の教育に参画をしている。

今回の研修は地域人教育を進めるうえの課題についてその解決を図るべき、松本市の取り組みを学ぶことが目的であり、具体的には以下のような目的に基づいて実施される。

- ① 飯田市において地域人教育を進めるために、地域の受け皿を作るにはどうしたらよいか、地域課題を解決するために地域人教育事業をどのように地域が活かしていくかを学ぶ
- ② そのために、実際に活動している学生の話聞く
- ③ 今後の活動の参考とするべく、学生が活動している上土地区で、受け入れている地区の達から、今までの経過、学生を受け入れての率直な感想、学生を受け入れる時の想いや「育てる」視点などをお聞きする

2. 参加者

飯田市公民館関係者 8名

3. 受入体制

上土商店街関係者 松本大学学生 松本市公民館関係者

4. 内容と日程

2014年12月2日（火）

- 11:30 松本大学着・学生の発表とディスカッション <5号館3階第3会議室>
地域と学生の活動について・活動を通じて学生がどのように成長したか
- 12:30 市内へ移動
- 13:00 昼食 居酒屋一步 食事後上土散策
- 14:00 上土ふれあいホールにて商店街関係者と話し合い
- 15:00 終了予定